

第1回妖精資料活用検討懇談会議事要旨

日時：平成15年12月22日（月） 午後1時～

会場：宇都宮市教育センターコミュニティーホール

出席委員：小林委員，木村委員，柏村委員，橋本委員，星野委員，小川委員，小関委員
松江委員，鈴木委員，福田委員

任命権者：高梨教育長

事務局：伊藤教育次長，渡辺主幹，北條課長，石井補佐，森田係長，荒井総括主査
神野指導主事，石和主任主事

1 開 会（石井補佐）

2 委 嘱 状 交 付（高梨教育長）

3 教育長あいさつ（高梨教育長）

4 委 員 紹 介（石井補佐）

5 事務局自己紹介

6 議 事

(1) 会長・副会長選出

- ・ 会 長 文星芸術大学教授 小林利延委員
- ・ 副会長 作新大学助教授 木村克彦委員

(2) 会議の公開・非公開の決定について

- ・ 会議は公開，議事録は公表とすることで決定。
- ・ 報道関係者の写真撮影について議事に支障が無い範囲で許可する。

(3) 妖精資料概要説明

- 会場内の美術・書籍資料【寄贈品の一部】検分・意見交換 -

【星野委員】

- ・ ケルトは，ジャンルとして確立している。
- ・ ワーグナーやメンデルスゾーンなどの曲の中に妖精の音楽が入っている。音楽に妖精というジャンルは無いが，曲の中から妖精に相応しい音楽を選び，イベントなどで活用できるよう協力したい。

【橋本委員】

- ・ドイツでは「インゲン」とつく地名が多い。これはケルト語で「住人」、「住みか」という。日本におけるアイヌと同じような存在である
- ・グリム研究は、地域足元の文化を残そうというのが目的、妖精もまた同じである。

【柏村委員】

- ・活用に当たって、まず、資料の評価が必要。
 - 今後、専門家に評価をしていただくことで考えている。
 - 一般的なものから貴重本までまとまってあることに価値がある。
 - この資料から派生するような活用をご検討いただきたい。
- ・資料活用の対象や管理方法など井村さんの意向が知りたい。
 - 市のまちづくりのために活かしてほしいとい無償の気持ちで寄贈いただいた。
 - 貴重本については、展示学術に限る。また、資料の電子化も考えている。
 - 大衆本については、新刊本を購入するなどの方法も考えられる。
 - 美術資料のオリジナルは美術品として扱う。
 - 複製は利活用の際重要な資料となる。
- ・妖精資料の力をかりて宇都宮市史の民俗編を民話中心にまとめていったらどうか。

【小川委員】

- ・原書が多い。こどもに結びつけるのがきびしい。日本語のものは図書館にもある。
- ・原書は、一般貸し出しではなく、研究用資料として扱った方が良い。

【木村委員】

- ・専門家からみれば貴重、オスカー・ワイルドに関しては専門家の資料として活用することが考えられる。

【小関委員】

- ・妖精資料は、まちづくりに活用できないかと考えている。
- ・妖精という言葉キーワードに委員の皆様の意見を膨らませて妖精館、妖精センターとして広く市民の方々が来て楽しめる施設ができればと考えている。
- ・中心市街地の活性化という観点から、市中心部にできればと考えている。

【松江委員】

- ・資料的な蔵書が多い。閲覧で市民が活用できるようにしてほしい。
- ・子供たちが行きやすい市中心部が良いと思う。

【小林委員】

- ・川上澄生美術館の運営経験から建物の中に5つの機能が必要と考える。
具体的には、常設・企画展やイベントのスペース、図書室、教室である。

- ・常設展で展示するにはボリューム ,レベルが不足しているので ,妖精の本の中で ,著作権が切れているものをパソコンでとりこんでパネルにするなどの工夫が必要。
- ・企画展には ,「スタジオジブリ」から「トトロ」の立体造形を借用して展示するなど人気のある展覧会を開催したらどうか。

【東京都現代美術館入館者 22 万人を記録】

- ・イベント会場では「眠りの森の美女」などのバレエが鑑賞できる。教室は ,妖精に関係なくカルチャー方式の教室とするのはどうか。
- ・図書室に井村文庫として収めておく。これだけ機能があればかなりのスペースになる。それぐらいにしないと人が集まらない。
- ・中心市街地の活性化から考えると上野百貨店跡の 2 F か ,宇都宮城との関係上 ,中央小の西側周辺を利用した施設整備はどうか。
- ・市の既製の施設を活用し入場無料でどうか。

【橋本委員】

- ・今は ,車社会である。整備にあたっては駐車場を考える必要がある。
- ・井村さんの資料だけではなく ,関連資料を充実させていくことが必要。妖精なら宇都宮と全国から人が集まる施設になれば良いと考えている。

【小関委員】

- ・中心市街地の空洞化は全国的な問題となっている。高次な都市機能の形成に向けて中心部を活性化する必要がある。今回の妖精は文化的な要素を多く持っており ,現在 ,打開策が見えない中で大きなファクターになると思っている。
- ・調査上 ,ホリデーパーキングの稼働率は低く駐車場そのものは不足しているとは言えない。

【柏村委員】

- ・城址公園との整備の整合性どうなのか。
- ・県内には似たような施設がある。グリムの館 ,美術館などデータを分析すべき。
- ・ディズニーランドのように大きなものならば活性化につながるが ,規模を大きくすればお金がかかる。年間でペイできるのはせめて 20 万人必要と考える。

【福田委員】

- ・「黄ぶな」は観光案内に評判良い。「妖精バス」を走らせて見たらどうか。
- ・入館料は無料にしてほしい。

(4) これからの懇談会スケジュールについて

- ・次回会議 平成 15 年 1 月 20 日 PM 1 : 30 ~ 4 : 00

7 そ の 他

8 閉 会 (石井補佐)